

## 中学校再編と地域のかかわりについて

**問** 地元スタンスでの中学校再編の考え方は。

**答** 中学校が再編成されても、地域の活性化が図られるよう進めていきたい。

**問** 「学校づくり協議会」を、この12月頃から開催するとの事であるが、地域の特色ある文化を子供達に伝えていきたい。それは、地域に子供達が戻って来てほしいと願うからである。今後どのように、手だてを講じていくのか。学校づくり協議会を先に立ち上げ、後おいでいくのか。

**答** この協議会は、新学区ごとにつくる。その前の段階として町ごとの組織をつくっていかなくてはならない。



## 米価の下落に対する当局の対応について

**問** かつてない程の米価下落傾向にある。概算全支払いは、一俵60kg当たり8千5百円となっている。その影響は。

**答** 大変大きい影響と考えている。戸別所得補償制度への対応もみながら考えたいが心配である。

**問** 議会として米価下落と過剰米対策について、

国へ意見書の提出を進めているが、市としてはどのような対応を考えているのか。

**答** 過日、岩手県知事に対して各種施策要望をした。今後も機会を捉えて戸別補償の変動部分についても、早めに支払いできるように要望していく。



## 全国市議会議長会表彰伝達式

期日／平成22年6月11日  
場所／市議会本会議場

## 永年の功績たたえる

本市議会の議員3人が、全国市議会議長会から表彰を受けました。

表彰されたのは、荻野桂一議員、伊藤庄吉議員、新田勝見議員の各氏で、今回の表彰は、全国市議会議長会表彰規程に基づき、荻野議員は市議会議員の勤続年数が通算20年以上、伊藤議員と新田議員は15年以上務めた功績によるものです。

表彰状は、5月26日に日比谷公会堂で開催された全国市議会議長会第86回定期総会で贈られ、6月11日の市議会最終日、議場において各議員に伝達されました。